

活動報告

タイ科学技術博覧会 (National Science and Technology Fair) への出展

勝又 美穂子

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業 極限環境対応グローバル接合部門 特任准教授

2016年8月18日～28日の日程で開催されているタイ科学技術省主催のタイ科学技術博覧会にて、当研究所がブースを出展しています。

本博覧会は年一回開催されていますが、本年の開催が過去最大級となりました。会場はバンコク郊外のImpact展示場で、ホール7個分を利用した大きな会場となりました。タイの企業、大学、政府機関などは勿論、海外パビリオンとしては日本、ドイツ、英国、米国、オーストラリア、ラオスが出展しました。当研究所は日本パビリオン内に出展し、その他日本からは内閣府、JAXA、東京大学、京都大学、情報通信研究機構、国際農林水産業研究センター、日本学術振興会などからの出展がありました。

当研究所は主に、組織紹介及び広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業で実施しているカップリング・インターンシップ (CIS) の活動紹介を実施しました。

8月19日には本博覧会のオープニングセレモニーが行われ、タイ科学技術省の Pichet Durongkaverroj 大臣が開会の挨拶を行いました。本博覧会を通して、タイの希望ある子ども、若者たちにより科学技術に親しんでもらい、将来への大きな力となって欲しいと、科学技術分野における人材育成の重要性を述べられました。セレモニー後には日本パビリオンを訪問され、当研究所ブースにもお立ちより頂きました。本博覧会の来場者の多くが学生であり、タイが国を挙げて取り組む人材育成の勢いを見て取ることが出来ました。当研究所としても、この博覧会はアウトリーチ活動として大変有益な機会となりました。

本博覧会への出展はバンコクに拠点を構える本学アセアンセンターとの連携の下実現したものです。今後も、アセアンセンターとの連携を強化しながら、当研究所の国際活動及び今後の展開につながる基盤構築を行っていきたいと考えています。

